

開講科目名 / Course	看護疾病病態論II	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	藤内 美保	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、藤内 美保、山田 貴子、内倉 佑介	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	重要かつ臨床現場でよく遭遇する疾患について、定義、疾患の成り立ちや病態のメカニズム、病態と関連づけた症状、検査、治療についての基礎的知識を身につけ、看護の観察ポイントや起こりうる病態予測、緊急性や重症性の判断など看護と関連づけて理解することを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳・神経系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方について説明できる。</li> <li>2. 内分泌・代謝系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方について説明できる。</li> <li>3. 腎・泌尿器系、生殖器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方について説明できる。</li> <li>4. 運動器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方について説明できる。</li> <li>5. 感覚器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方について説明できる。</li> <li>6. 特定の症状に関して出現するメカニズムを様々な系統から考え、症状の特徴や違いを説明できる。</li> </ol>	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>01. 脳・神経疾患（1）意識障害、運動麻痺、感覚障害</li> <li>02. 脳・神経疾患（2）脳出血、脳梗塞</li> <li>03. 脳・神経疾患（3）パーキンソン病</li> <li>04. 脳・神経疾患（4）筋萎縮性側索硬化症、認知症</li> <li>05. 内分泌・代謝疾患（1）糖尿病</li> <li>06. 内分泌・代謝疾患（2）糖尿病の合併症</li> <li>07. 内分泌・代謝疾患（3）甲状腺疾患</li> <li>08. 内分泌・代謝疾患（4）副腎疾患、クッシング症候群</li> <li>09. 腎・泌尿器疾患（1）腎不全</li> <li>10. 腎・泌尿器疾患（2）腎炎、前立腺肥大症</li> <li>11. 腎・泌尿器疾患（3）腎腫瘍、膀胱腫瘍、前立腺がん</li> <li>12. 運動器疾患（1）骨折</li> <li>13. 運動器疾患（2）脊髄損傷</li> <li>14. 運動器疾患（3）変形性関節症、椎間板ヘルニア</li> <li>15. 生殖器疾患</li> <li>16. 眼疾患</li> <li>17. 耳鼻咽喉疾患</li> <li>18. 皮膚疾患</li> <li>19. 病態探究演習（1）グループワーク</li> <li>20. 病態探究演習（2）発表会</li> </ol>	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、理解を深められるようにグループワークによるアクティブラーニングを組み込んでいる。	
時間外学修	テキストの該当箇所を事前に読み、該当臓器などの解剖生理を復習したり、分からない用語などを調べておく。講義後は、資料やノートの内容を復習する。中間と最終の筆記試験を行うので、重要なポイントを適宜整理する。	
評価方法と評価割合	筆記試験（100％）。但し、各試験範囲の授業時間の1/3以上欠席した場合は受験を認めない。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6,7,8,9,10,11,12,13,14]（医学書院） プチナースBooks 病態関連図が書ける観察・アセスメントガイド（照林社）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有

	内容	藤内美保：病院の看護師 石田佳代子：病院の看護師 山田貴子：病院の看護師 内倉佑介：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の経験を活かし、臨床現場と理論を結び付けながらエビデンスに基づき教授する。	